

Injury Alert (傷害速報)類似事例

新しいタイプの洗剤（1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤）の誤飲（No.50 新しいタイプの洗剤（1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤）の誤飲による中毒の類似事例11）

事例	基本情報	年齢：0歳 7か月 性別：男児 体重：7.9kg 身長：65.0cm
	家族構成	両親、同胞二人(兄、姉)
	発達・既往歴	乳製品・卵にアレルギーあり、発達・既往は問題なし
臨床診断名		異物誤飲、誤嚥性肺炎、化学性肺炎
医療費		入院 1,102,200円 外来 0円
原因対象	対象名称	1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤（1パック約23g、4×4cm、界面活性剤58%）
	入手経路 使用状況	海外製品を取り扱う大型スーパーにて自宅用に購入したものであり、洗面所に保管容器に入った状態で置いていた。
発生状況	発生場所	自宅のリビング横の脱衣所
	周囲の人 周囲の環境	発見者は母で、対象物は保管容器の中に蓋を閉めた状態で保管していた。保管容器は脱衣所の洗濯機横に扉のない収納棚の一番下の段に置いていた。
	発生年月日	2022年10月X日(日) 午後7時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	父は入浴していた。母はキッチンで調理中だったが、午後7:30頃に本児が脱衣所に移動するのを目撃した。次に母が本児を目撃した時には、対象物を1パックの半分程度誤飲していた。脱衣所には洗濯洗剤の容器が倒れており、容器の蓋が空いた状態であった（詳細な誤飲時間は不明）。その後緑色の嘔吐を2回認めたため医療機関に救急搬送された。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>病院到着時(午後 8:04)の全身状態は良好でバイタルサインも安定していた。診察上も咽頭の分泌物貯留音以外に特記所見を認めなかったが、1 回分パックタイプ洗濯用液体洗剤(ジェルボール型洗剤)の誤飲であり経過観察目的に入院管理を開始した。①正確な誤飲時間が不明であること、②気管挿管で嘔吐を誘発するリスクがあることより搬送時点での胃洗浄は行わなかった。また牛乳や水での希釈が推奨されているが、本児は牛乳アレルギーのため牛乳の使用はできなかった。</p> <p>午後 9:30 頃(誤飲の目撃から 2 時間後)より徐々に酸素化が低下し、SpO₂ 88%(室内気)となった。気道狭窄音、肺野に湿性ラ音も認め、気道浮腫や肺炎の可能性があり、ICU 入室後に鎮静下で気管挿管・人工呼吸管理を開始した。X+2 日目に全身の浮腫が出現し、同日の胸部 X 線写真では全肺野の透過性低下を認めた。また発熱したため誤嚥性肺炎の可能性を考慮し、ABPC/SBT 150mg/kg/day の投与を開始した。同日昼に数秒間の全身性けいれんがあったが、血液検査は異常なく頭部超音波検査でも出血所見はなかった。</p> <p>以後は再けいれんなく、徐々に浮腫や呼吸状態も改善したため X+5 日目に抜管し、X+6 日目に一般病棟に転出した。同日抗菌薬を終了し、その後も全身状態は良好であった。X+10 日目に後遺症なく退院した。</p>
<p>キーワード</p>	<p>異物誤飲、パックタイプ洗濯用液体洗剤、化学性肺炎、人工呼吸管理</p>